



# はとつうしん

No.85 2025. 7. 1 (創刊 1989年7月)

○発行／日高市民生委員・児童委員協議会／日高市大字南平沢1020番地 日高市役所生活福祉課

## 旧高麗川駅

提供 日高市美術連盟会員 福島尚氏

昭和44年9月生まれ。幼少期、鉄道に強い興味をもち、列車や信号機等、鉄道に関する絵を描くようになった。現在は創作活動の範囲を拡げている。



## 就任にあたって



日高市健康推進部

部長 高山 知子

4月の人事異動により健康推進部長に就任いたしました。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、日頃から地域の方々に寄り添い、ご活躍いただいておりますことに敬意を表し、深く感謝申し上げます。

近年、本格的な少子高齢社会の到来による人口減少や単身世帯の増加などの影響により、人と人とのつながりが希薄化しています。

更に、高齢者の孤立や、不安を抱える子育て家庭、ヤングケアラーの問題など、地域住民が抱える日々の困難さは複雑多様化しています。このような中において、人々が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるよう、住民同士の助け合いや支え合いも重要になっており、地域福祉に求められる役割はますます大きくなっていきます。

市では、第6次日高市総合計画において、市民が笑顔で豊かな生活を送れるよう「誰もが安心して住み続けられる ふれあい清流文化都市 日高」を目指しており、今年度の一般会計予算の重点施策のひとつとして、健康で生き生きと幸せに暮らすことができる「健幸のまちづくり」を掲げ、各事業に取り組んでおります。

今後とも民生委員・児童委員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康をお祈りし、挨拶とさせていただきます。

# 就任にあたって



子育て応援課長兼  
こども家庭センター所長  
今田 麻弓

4月の人事異動により、子育て応援課長兼こども家庭センター所長に就任いたしました。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、地域のこども・家庭にとつての身近な相談相手として、また、必要な支援を行政につなげる役割として、ご活躍していただいておりますことに深く感謝申し上げます。

市では、こども施策に関する新たな計画として、「日高市こどもの未来プロジェクト（日高市こども計画）」を、令和7年3月に策定いたしました。こども・子育て家庭への切れ目のない支援を図るために、各施策の推進に取り組んでまいります。今後とも民生委員・児童委員の皆様のお力添えをどうぞよろしく願いたします。



長寿いきがい課長  
石森 昭博

4月から長寿いきがい課長に就任いたしました。民生委員・児童委員の皆様におかれましては、地域の方々を温かく見守り、時には身近な相談相手となり、必要な支援機関へつないでいただいたりしておりますことに、心より感謝申し上げます。

市では、高齢者が生きがいを持つて生活できるよう介護予防事業を実施しています。また、重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進に取り組んでまいります。今後とも、民生委員・児童委員の皆様のご理解ご協力のほど、よろしく願いたします。



生活福祉課主幹  
大森 充浩

4月から民生委員・児童委員の担当をすることになりました。日頃から、民生委員・児童委員の皆様におかれましては、常に住民の立場に立って相談にに応じていただくなど、地域の皆様方の相談相手として、日夜、ご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

近年、地域環境の変化により、身近な交流やコミュニケーションを取り合う機会が少なくなっており、地域における支え合いや助け合う環境が求められています。安心して生活が送れる地域社会の実現に向けて、地域福祉の増進を図っていくためには、民生委員・児童委員の皆様のお力が必要でございます。担当として、至らない点があるとは思いますが、皆様方の活動を少しでも支援させていただきます。地域福祉の向上のために努めてまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

## あんなこと、こんなこと



高麗地区  
三田 ふみ江

民生委員・児童委員とは無縁の私に、委員のお話が舞い込んできた時は、到底私の器では受けられず、断り続けていましたが、結局受諾することにした。

右も左も分からない状況の中、委員の情報交換などから活動に入り、ある時、刃物を持って走っている人がいるとの通報により、地域内に数台のパトカーが到着し、警戒に当たってもらった。その結果、植木職人さんが作業場にノコギリを忘れ、取りに戻って走って帰るところだったと判明。誰もがその一場面遭遇すれば驚くに違いない。

また、庭木の手入れができず、隣りのガレージに覆い被さる程の枝が放置された家は留守がちで、家人に接触する事が難しいため、副会長さんの力を借りて役所に報告。何とか親族に連絡が取れ、伐採に至った。近年、空き家が多く、防犯上も気になる。

一期生委員のつばやき

# 催開例会定合同



講演する服部孝氏

2月13日、高麗の郷において、合同定例会が行われた。会長挨拶の後、今回の講演は、「みな風地域食堂」（さいたま市）顧問の服部孝氏による「児童虐待を知る」という内容であった。虐待や育児放棄を受けた少年が罪を犯し、刑に服しながら服部氏と手紙のやり取りをしている内容であった。

紙で自分の考えを述べたりしている内容を聞いていくうちに、少年への考えが変わってきた。彼はしっかりと反省もし、自分の生き方も考えているようである。裁判の中で、裁判長の言った言葉。「これだけ大人達がいて、誰かが助けられなかったのか」虐待の連鎖を止めるには、虐待を受けた子供が、信頼できる大人と出会えることが必要であるとのことであった。したがって大人は、虐待を受けた子供達に信頼される社会を作る責任があるであろう。

虐待は、脳に大きな影響を与える。「虐待を発見したら」ではなく、「虐待かも」と思ったら通告の義務があるとのこと。民生委員・児童委員は虐待と思われる子供を発見したり、住民から相談を受けたら、市町村や主任児童委員等へ通告する仲介役として、重要な立場にあることを認識する必要があるだろう。

広報部会 小林 一夫

## 地域食堂 = 高麗地区 武蔵台公民館

毎月、第三金曜日に武蔵台公民館で「やまなみ地域食堂」を開催しています。スタッフは二十六名で、新旧の民生委員・児童委員と地域の方々です。きっかけは社会調査で、高齢者が「人と話していない」「テレビと会話している」と話してくれたことです。高齢化が進むにつれて、自宅近くに食堂や交流場所がない事が孤食に繋がるのでは？と思っていました。そんな時に公民館長より、地区映画会に合わせて地域食堂をやってみませんか？と提案されスタート。お客さんも徐々に増え、二十〜三十名と懐かしい顔が集まります。お独りでもスタッフと話が盛り上がり、楽しそうです。最近ではお客さんからスタンプになった方も（三百円カレーおかわり自由）

リーダー 渡部 優子

### 活動日誌より



高麗地区 萩野 由美子

民生委員・児童委員の委嘱を受けて三年目になります。一年目は、地域のパトロールに参加したり、ゴミゼロ活動では、役員さん、育成会長さん、班長さんと顔合わせをしたりして、少しずつ顔見知りが増えました。二年目からは、地区の役員会に毎月出席させていただき、交流を図ったり、情報の共有、近況報告と共に、役割として困りごとの相談、必要な支援やサービスへのつなぎ役であることを周知していただく機会になったりしています。そして、育成会からの情報共有案件を主任児童委員へつなぎ、学校へ連絡していただいたことがあります。今後も見守り続けることの大切さを実感しました。活動していく中で知らなかった事があった場合には、経験者の意見を参考に、困りごとに寄り添った活動を続けていきたいと思えます。

# 動 活 会 部



広報部会  
小林 一夫

「はとつうしん」は平成元年に創刊以来、号を重ね、今回で85号を発行することができました。諸先輩方の努力を受け継ぎ、80号からは一部をカラー化することができました。また、部会員の提案と努力により、市のホームページからも閲覧できるようにし、市内の関係者や関係機関だけでなく、遠方の人も閲覧できるようにしました。私事ですが、盛岡市の友人から「広報、見ました」と便りがありました。発行に当たっては、編集会議で記事内容の検討、記事の執筆、原稿依頼などから始まり、原稿の回収後は、内容確認や校正を行います。原稿を印刷業者に渡してからは、一次校正・二次校正を経て、完成します。完成するまでには何回も読むので大変ですが、形のあるものが出来上がるので、やり甲斐はあります。部会員、皆で心を込めて作っていますので、是非お読み下さい。

## 施設見学

### 太平洋セメント日高工場



高麗地区  
深瀬 周一



令和六年度事業計画に基づき高麗地区（三月十一日）高麗川地区（三月十五日）は、太平洋セメント（株）日高工場の施設見学を実施した。工場は、約二十八万㎡という広大な敷地面積を有し、地元企業として象徴的な存在である。見学できたのは安全上の問題から敷地の1/4、構内をヘルメット、軍手、防塵メガネを装着し、写真撮影禁止などの制約をうけながらバスで出発。「資源化キルン」（回転釜）に、市内で回収した家庭ゴミ等を日量約60tを中へ投入し、空気を吹き込みながら低速回転し、三日程かけて有機物に分解し、セ

メントの原料へ。なんと残った「灰」も全てセメントにしてくれるとの説明に圧倒。また東日本大震災で出た津波の瓦礫なども受け入れるなど、とても役に立ってくれたこの工場を、一市民として誇りに思う！

工場の心臓部である「キルン」は径五〜六m。長さ100mの回転釜下をくぐり抜け、1,450℃の灼熱で有害物質を焼き尽くす施設であると説明を受けた。ゲストセンターへ戻り、担当者から、我が国唯一の自給率100%の企業であること。武甲山からは総延長23.4kmのベルトコンベアーで石灰石を搬入。日高市のゴミのリサイクル率は埼玉県一位との話。

- 次に質問事項に移り
- (一) 硝子、瀬戸物を可燃物として収集しているが↓全部溶解するので問題ない。
  - (二) 24時間365日稼働を止めない理由は↓止めたら物質が塊になり大変困ることになる。
  - (三) 武甲山の石灰岩はあと何年採掘できるか↓50年は採掘可能。
  - (四) 当工場の安全管理体制は↓三交代制勤務を取っている。ほぼ自動化、随所モニターカメラで管理監視している。等々
- 貴重な工場見学となりました。

### 埼玉西部地域消防指令センター



高萩地区  
越野 一夫

一月十四日（火）に、飯能日高消防署内に設置された「埼玉西部地域消防指令センター」の消防体制を見学しました。当センターは、試験運用を経て、昨年四月本格運用を開始。①埼玉西部 ②坂戸・鶴ヶ島 ③比企区域 ④西入間広域の4消防（局）本部で発足しました。管轄人口約119万人、年間発生件数約8万8千件、1日発生件数約260件との事。ガラス越しには各地域119番受付指令職員が、通報入電の対応を日夜交代制で行っています。

センター内中央の画面モニターには、消防や救急車の管轄地域毎の詳細な進捗状況が時々刻々と表示されます。日々、住民の安心・安全にご尽力くださり、大変ありがとうございます。常日頃の業務に感謝申し上げます。



# 認知症サポーター講座

## MCIって知っていますか？



講師の福島氏

今は65才以上の5人に一人は認知症になると言われています。今回特集として過日、高萩公民館での「認知症を正しく知って備えよう」の講座で、丸木記念福祉メディカルセンター認知症疾患医療センターの福島雄大氏からお話を伺いました。聞き手は高萩包括支援センターの伊東富美江氏です。



MCの伊東氏

伊東：まず認知症について伺います。

福島：認知症とはご存じのとおり、何らかの原因で脳に障がいが起こり、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態。これが概ね6か月以上持続する状態を指します。例えば ①物忘れが目立つ ②時間や場所の感覚がなくなる ③この症状が進行する。こういったことが特徴ですね。

伊東：認知症と加齢に伴う認知機能低下（物忘れ）との違いは？

福島：「認知症による物忘れ」は、**体験全体を忘れる、時間や場所等の見当がつかない、物忘れに対して自覚がない**。一方「加齢による物忘れ」は**体験の一部を忘れる、時間、場所の見当はつく、物忘れに対して自覚がある**。以上が両者の違いです。ここで健全な状態（障がい無し）と認知症（障がいあり）との境（**認知機能の障がいあり、日常生活の障がい無し**）の症状としてMCIがでてきます。

伊東：MCIとは何ですか？

福島：これは「**軽度認知障がい**」の略で、「**認知症の一步手前**」の状態です。正常な状態と認知症の中間であり、記憶力や注意力などの認知機能に低下がみられるものの、日常生活に支障をきたすほどではない状態を言います。必ず認知症に進行するという訳ではなく、正常な状態に戻る可能性もあります。

伊東：よくわかりました。特徴としては？

福島：①**少し前の事でも忘れてしまうこともある** ②**新しいことを覚えられない** ③**複雑な作業が苦手になる**。といったことが特徴です。日常生活に大きな支障がないため、家族や周囲の人が気づきにくいと言われています。

伊東：ちょっとの気遣いが見つけるポイントですね！

福島：大切なのは早期発見と適切な対応です。MCIはその症状と対応によって回復したり、認知症の発症が遅れたりすることがあります。早期にMCIに気づき、早期受診や病院の受診等で症状の進行を阻止することはとても大切です。それと毎日の生活習慣 ①**食生活** ②**運動（手・体・頭・口を使う）** ③**心を元気に**。この3つを見直して元気に過ごすことが大切です。

伊東：よくわかりました。今日はわかりやすくお話していただき、ありがとうございました。

広報部会 杉山 博行

# 令和7年度 日高市民児協 定期総会 開催

四月二十四日（木）日高総合福祉センター高麗の郷において、各地区の民児協 定期総会の終了後、令和7年度日高市民児協定期総会が開催されました。

まだまだ感染症対策で、出席された民生委員・児童委員、主任児童委員の多数がマスク着用での参加でした。

冒頭、前嶋会長が挨拶の中で、5年ぶりに開催された三地区合同研修、また、今年も前回と同じく委員の欠員問題が重要と指摘されました。

谷ヶ崎市長、金子市議会議長及び、大沢社会福祉協議会会長から来賓の挨拶をいただき、市の部課長各位をご紹介させていただきました。



社会福祉協議会会長  
大沢 弥 氏



新井信子理事の司会のもと、鈴木敏男委員を議長、渡部優子委員を書記に選出して議事に入りました。

議事は令和6年度の事業及び歳入歳出決算報告、互助事業及び歳入歳出決算報告が監査報告後賛成多数で採択され、令和7年度の役員選出、基本方針及び活動目標、事業計画及び歳入歳出予算も全て賛成多数で採択されました。

質疑応答では、活動目標を活動目的に変えた方がよいのでは

ないかと意見が出されました。今後検討すべき課題となりました。

今年度は、3年任期の最後の年になりました。委員同士の連携、支え合いを今以上に強固にし、地域福祉にかかる課題の取り組み、各部会の活動、見守り、支援活動をしていきたいと思えます。

高麗地区 石島 良則

新任民生委員・児童委員

令和7年1月1日付

高萩地区 生田目 光章

退任民生委員・児童委員

令和7年3月31日付

高麗地区 内田 愛恵

## 訃報

日高市民生委員・児童委員協議会 会長  
高麗川地区民生委員・児童委員協議会 会長

前嶋 謙一郎

令和7年6月11日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

## あとがき



昨年より、気温の寒暖差、乾燥が激しいと言われていました。今年に入ってから、乾燥が続く中で、二月下旬、岩手県大船渡市や愛媛県今治市など、各地で大規模な山林火災が相次いで発生しました。民家にも燃え広がる被害もできました。

避難された皆様が、一日も早く元の生活に戻ることができるよう願うばかりです。消火活動に尽力された、消防・自衛隊・救急隊をはじめ、関係者皆様に敬意を表したいと思います。又四月に入り、長野県や大分県など各地で地震も相次いで発生しました。

いつ何が起こるか分かりません。しまいつばなしになっている防災グッズなどの見直し・点検をされてみてはいかがでしょうか。

高萩地区 阿部 和枝